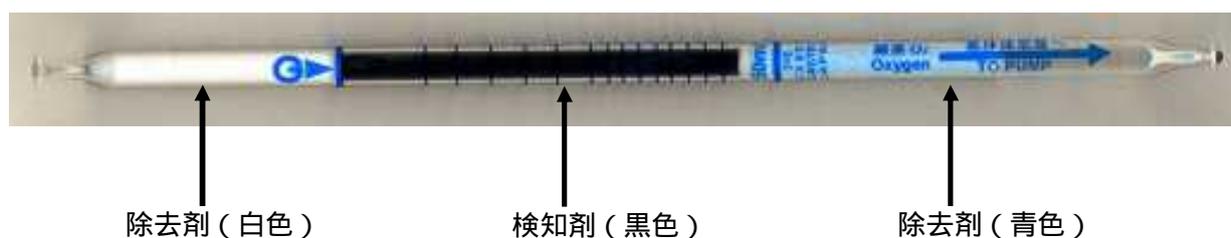


酸素検知管 No.31E の構造

酸素検知管 No.31E は、先端部から 除去剤（炭酸カリウムを多孔質シリカゲルに含浸 白い部分）、検知剤（三塩化チタンを多孔質シリカゲルに含浸 黒い部分）、硫酸銅を多孔質シリカゲルに含浸 青い部分）がガラス管内に充填されています。



- 人の健康に対する有害性

炭酸カリウム（MSDS 通知対象外物質）

接触することで皮膚を乾燥させる。

長時間または繰り返し接触すると皮膚を刺激し皮膚炎を起こす。

目に入ると、鼻および咽喉を刺激し、咳および胸部不快感を起こす。

口、咽喉、食道を刺激する。

三塩化チタン

MSDS 記載の通り。

硫酸銅

MSDS 記載の通り。

- 応急措置

炭酸カリウム 三塩化チタン 硫酸銅 3 物質共通の措置

目に入った場合：直ちに多量の水で 15 分以上洗い流し、医師の診断を受ける。

皮膚に触れた場合：直ちに接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。

飲み込んだ場合：直ちに口をすすぎ、医師の診断を受ける。

以上